

理論訓示 第12回

立体四目の正しい取り組み方

皆さん、こんにちは。

立体四目のことを知らない人はいませんね。では、どのような能力が育成されるかを知っていますか。

まず一つ目は、一番わかりやすい、空間認識能力ですね。立体的な教具なので、やるだけで育成されますが、特に良いのは、一つの方向からしか見ていないのに別の方向からの見え方を想像することなのです。ですから、見る位置を変えたり、立体四目を動かしながらやると、育成される能力が大きく減ります。

二つ目は、仮説思考力です。具体的には、勝ちパターンを自分で考えることです。いわゆる、自分の作戦ですね。これを誰かに教えてもらったのでは、仮説思考力は身に付きません。できるだけたくさんの作戦を考えてください。あとは、対戦しながら相手の打つ手を何手か先までを予想し、その対応方法を事前に考えておくことです。この先を予想するということは、空間認識能力育成にもなります。

最後は、瞬間判断力です。いくつかの選択肢の中から短時間で、場合によっては瞬間的に判断する能力です。ですから、パズル道場の立体四目の全国大会ルールは、相手が打ったら自分もすぐに打つ、というルールになっています。普段からそのルールで対戦することをお勧めします。ただし、自分の作戦を考えるときは、ゆっくり、じっくり考えてください。この場合は、自分一人でやるか、AI 立体四目アプリのプラクティスモードは制限時間なしなので、そちらで取り組んでください。

つまり、立体四目はじっくり学習とスピード学習というパズル道場の大切な能力育成法の両方に取り組むことができる教具なのです。

立体四目に強くなるには、できるだけ自分より強い人と対戦することと、AI 立体四目に取り組むことです。強くなるということは、先ほどの3つの能力がレベルアップしていることです。頑張ってください。